

<第1回 学校アンケート 分析と考察>

本校では、授業のユニバーサルデザイン化を研究課題にして、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにする授業改善に取り組んでいます。一方、特別の教科道徳科や総合的な学習の時間では、「いのちの学習」に重点をおき、自他の生命の大切さを考える時間を増やすようにしています。

1. 児童について

低学年高学年どちらにおいても、ほとんどの項目で、80%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。また、(1)「友だちと仲良く学校生活を送っている」(3)「きまりや約束をしっかりと守っている」(12)「相手の気持ちを考えて行動する」(13)「人の「命」は何よりも大切なものであると思う」では、90%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。

これらのことから本校の子どもには、基本的な生活習慣や規範意識、人権感覚が育成され、身についていると考えられます。「あまりできていない」「できていない」と回答した子どもに寄り添いながら、学校全体の合言葉である「みそあじ(身支度・掃除・挨拶・時間を守る)」の継続した指導を進めてまいります。また、毎月10日の「なかよしの日」の学習や「いのちの学習」を通して人権感覚を磨いたり、命の大切さについて考えたりしていきます。

昨年度と比較してポイントの伸びたものは、(7)「忘れ物をしないようにきちんと準備をしている」で、2.2ポイント伸びています。これからも見通しをもって事前の準備を続けてほしいと思います。一方、以下の2項目に課題が見られました。

(5)「進んで読書に取り組む」(10)「自分の考えや思いを話す」どちらも、70%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していますが、他の質問より「よくできている」と回答している子どもが少なくなっています。また、高学年の方が低くなっています。

(5)では、学年が上がるにつれて、数値が低くなっています。しかし、読書によって語彙力や表現力をつけたり、想像力をふくらませたりすることで生活をより豊かなものにすることができます。学校での朝読書の時間を有効に活用していくよう指導します。

(10)について本校では授業中に毎回、全員が自分の考えや思いを話せることを目指しています。しかし、成長と共に、自我が芽生え、人前で話すことに恥ずかしさを感じる子どももいます。そのため、ペアで伝え合ったり、グループで話し合ったりする学習形態を取り入れ、より多く話す機会や話しやすい場を設けています。今後も教職員一同、子どもたちがすんで自分の意見や考えを表現できるよう授業を工夫し、多様な考えが認められるような学級経営を目指します。

2. 教職員について

教職員の回答でも、ほとんどの項目で80%以上が「よくできている」か「大体できている」と回答していました。また、どの項目においても「できていない」と回答した教職員はいませんでしたが、項目によっては「あまりできていない」と回答しているものがありました。その中で課題があると思われるものは、以下の項目です。

(6)「自主的な家庭学習の習慣が定着するように、家庭学習の進め方を指導している」では、「あまりできていない」と回答した教職員がいます。まだ、子ども達が自主的に家庭学習をするまでには至っておらず、宿題等の課題を保護者の方にもご協力いただきながら、がんばってできるようになりつつある状況にあることが理由でした。今後とも、読み・書き・計算を中心とした家庭学習の大切さを子どもたちにくり返し伝え、習慣化を図っていくことが必要だと考えています。その中で子どもたちが進んで苦手分野の克服に挑んだり、興味関心のあることを追究したりしていくような働きかけを粘り強く続けていきます。

3. 保護者について

保護者の方の回答でも、ほとんどの項目で80%以上が「よくできている」か「大体できている」との回答でした。保護者の方の「よくできている」「大体できている」という回答率が高い項目は、子どもたちの回答も「よくできている」「大体できている」となっています。やはり、ご家庭での声かけが子どもたちに反映されています。その結果からも上記のように子どもたちに基本的な生活の習慣や規範意識、人権感覚が育成され、身についていると考えられます。その中で課題があると思われるものは、以下の項目です。

(5)「すすんで読書に取り組むように働きかけている」この項目だけが「よくできている」か「大体できている」の回答が54%でした。情報収集においては、便利さやわかりやすさからインターネットや動画を使用することが多いと思います。さまざまなメディアがある中で活字離れが進んでいているのではないかでしょうか。家でじっくり読書をすることを子どもたちに経験させることは有意義なことだと思います。また、本によっては、その時、その年代でしか味わえない名作もたくさんあります。保護者の方が子どもの頃に読んで心に残った本を紹介したり、右京図書館に本と一緒に見に行ったりされることも大切です。学校では学校司書教諭を配置したり、選書会で選ばれた本を購入したりしています。学校図書館もさらに活用してほしいと思います。

4. 今後について

アンケートにご協力いただきありがとうございました。その結果から見えてきた課題に、今後どのように解決していくかを考えるよい機会になりました。教職員が共通の意識をもって学校教育の向上に努めています。次回のアンケートは、12月に実施させていただきます。アンケートの記入について、今後もご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。